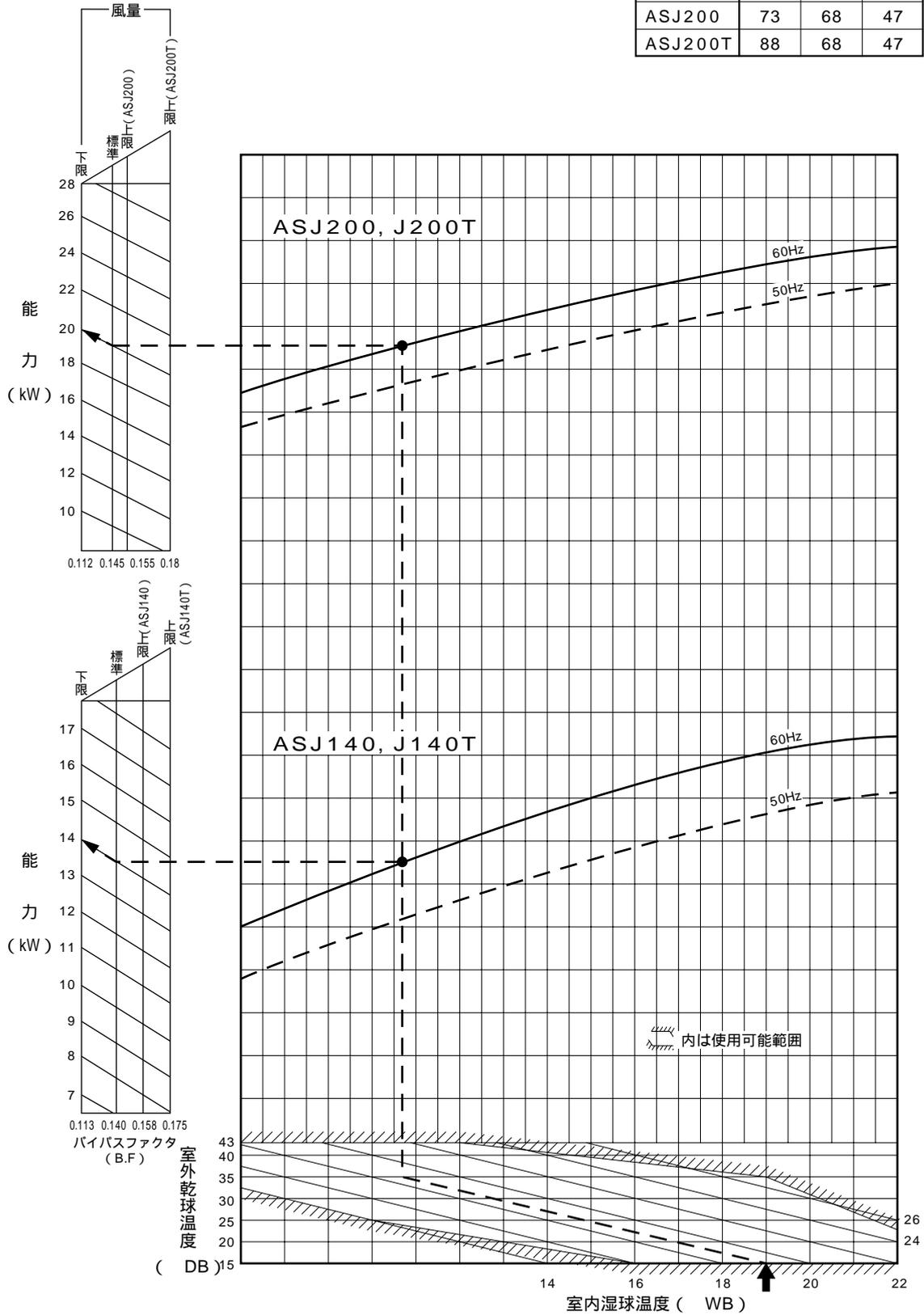


1.2.7 能力特性

(50 / 60Hz)

ASJ140 , 140T , 200 , 200T

	風量 (m ³ / min)		
	上限	標準	下限
ASJ140	51	45	37
ASJ140T	58	45	37
ASJ200	73	68	47
ASJ200T	88	68	47

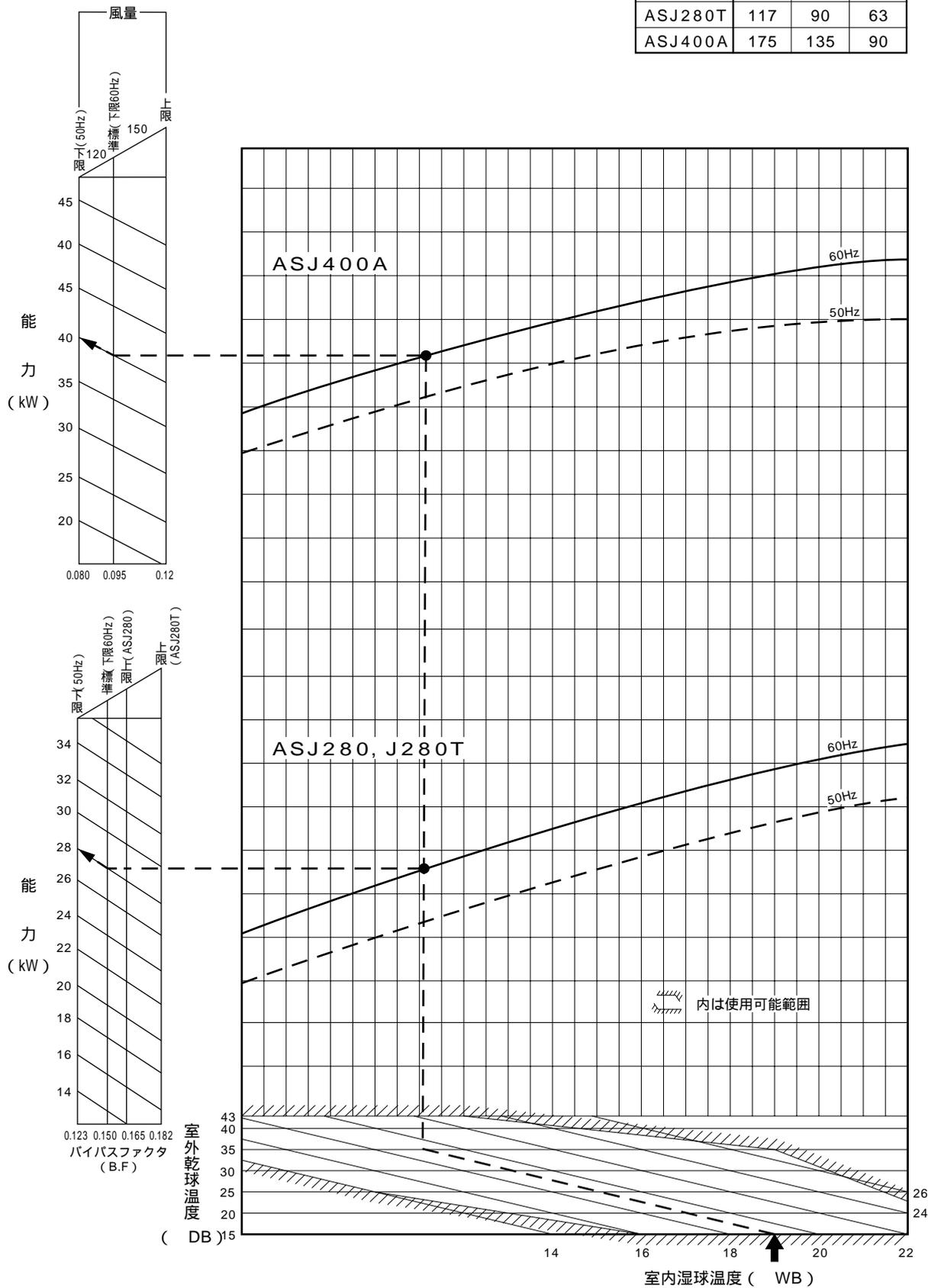


能力は、配管距離により補正する必要があります。能力補正係数については88ページをご覧ください。

ASJ280, 280T, 400A

(50 / 60Hz)

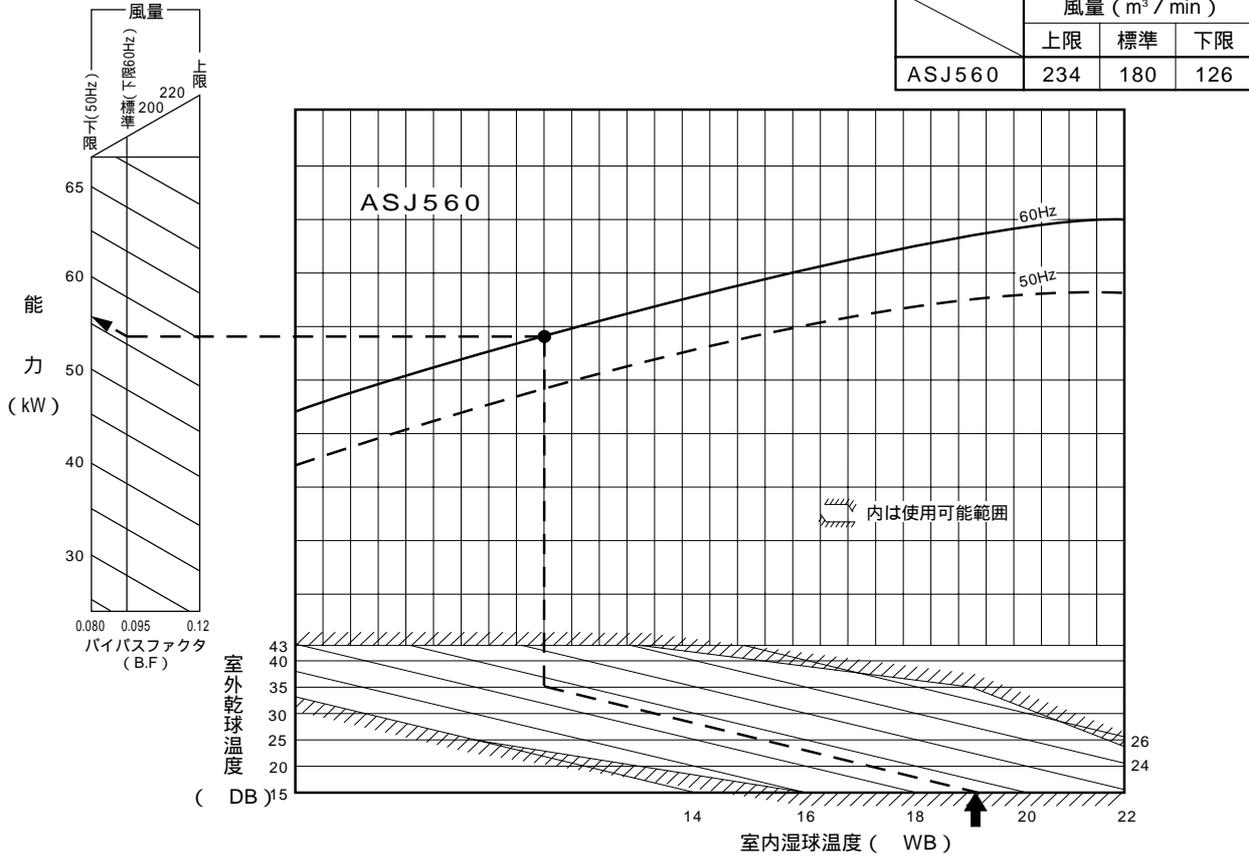
	風量 (m ³ / min)		
	上限	標準	下限
ASJ280	100	90	63
ASJ280T	117	90	63
ASJ400A	175	135	90



能力は、配管距離により補正する必要があります。能力補正係数については88ページをご覧ください。

ASJ560

(50 / 60Hz)



(1) 配管距離，室内・外ユニット高低差による能力補正

冷媒配管長（室内・外ユニット間の配管の片道長）および室内・外ユニット高低差により冷房能力の補正が必要です。

正味能力 = 能力特性で求めた能力 × 補正係数

(a) 配管相当長による能力補正係数

室内・外ユニット間の高低差0mの場合の配管相当長対応の補正係数は下表のとおりです。

ユニット	相当長(m)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55
全形式共通		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.995	0.995	0.99	0.99	0.985	

注(1) 相当長は下式により計算してください。但し相当長がそれぞれの形式の“配管距離制限長さ + 5m”以内となるよう計画してください。

- ・ J140形 : 相当長 = 実長 + (0.10 × 途中配管のバンド数)
- ・ J200形 ~ J560形 : 相当長 = 実長 + (0.15 × 途中配管のバンド数)

(b) 室内・外ユニット高低差による能力補正

冷房時，室外ユニットが下，暖房時，室外ユニットが上，の場合のみ配管相当長による能力補正係数から下表の数値を差引いてください。

室内，外ユニットの高さ方向の差 m	5	10	15
補正係数	0.01	0.02	0.03

冷房能力算出例

- ・ 形式：ASJ140，60Hz標準風量，室内湿球温度：19 WB，室外乾球温度：35 DB
配管長さ：30m，室内外ヘッド差：5m（室外ユニットが下）
- ・ 正味冷房能力 = 14.0 × (0.995 - 0.01) = 13.8kW

能力特性 配管長さ 室内・外の高さの差補正係数
補正係数